

保健衛生ニ關スル實地調査報告

警視廳衛生部

国立保健医療科学院蔵書



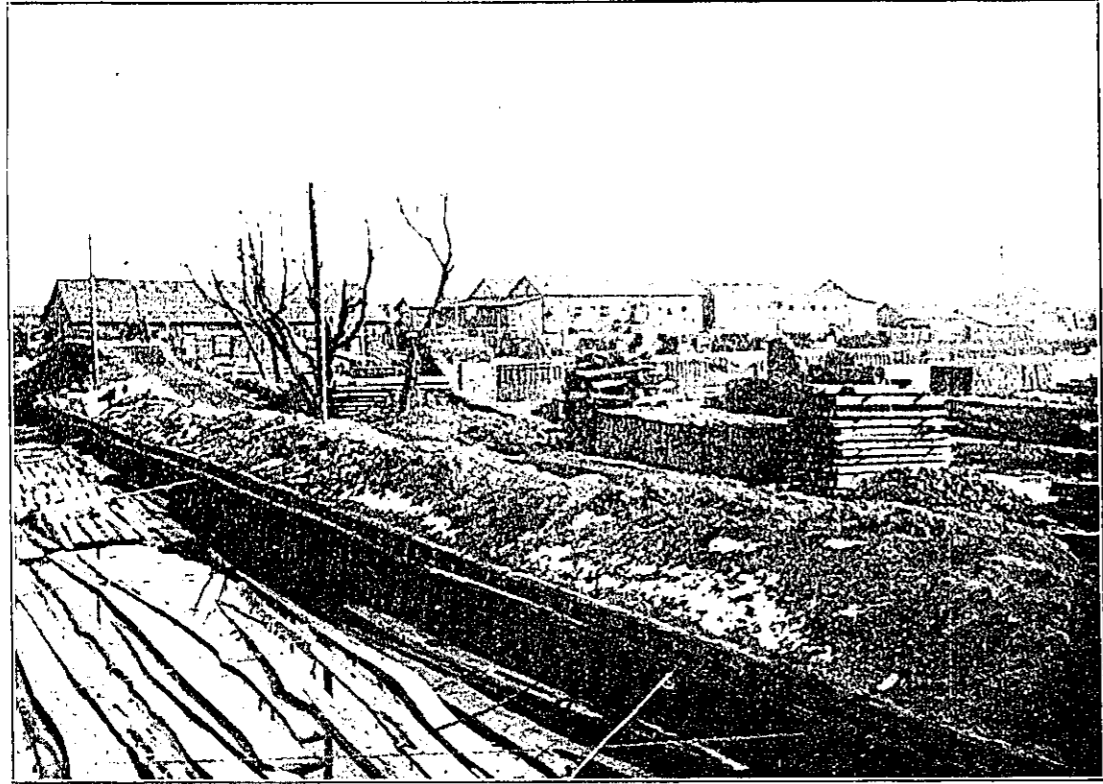
10012053

21-2-27

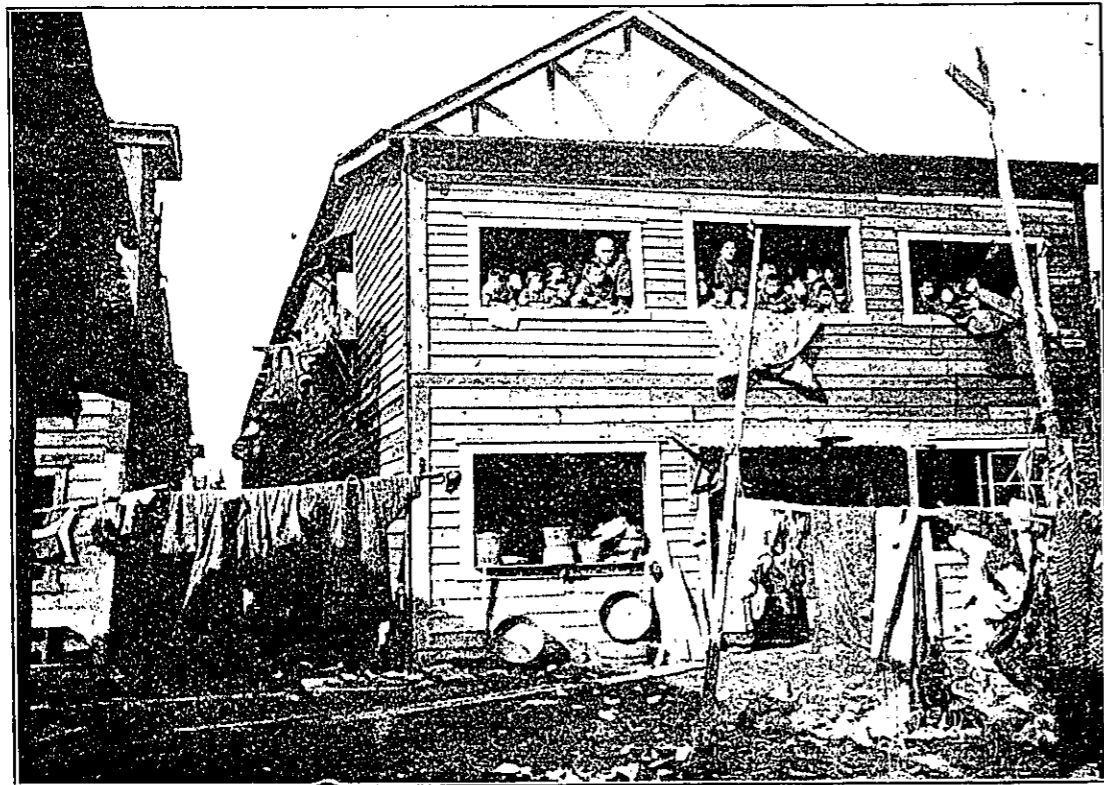
川上理一氏

P-B
8

7447 P-B
8

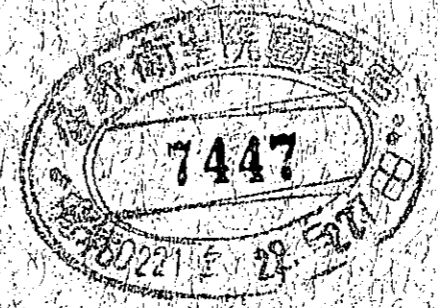


深川區豊住町和親館細民長屋全景
小サキ澤山ノ窓見ユル西洋式建築四棟是ナリ
一館ハ一昨年ノ大風雨ニテ壊サレタリ



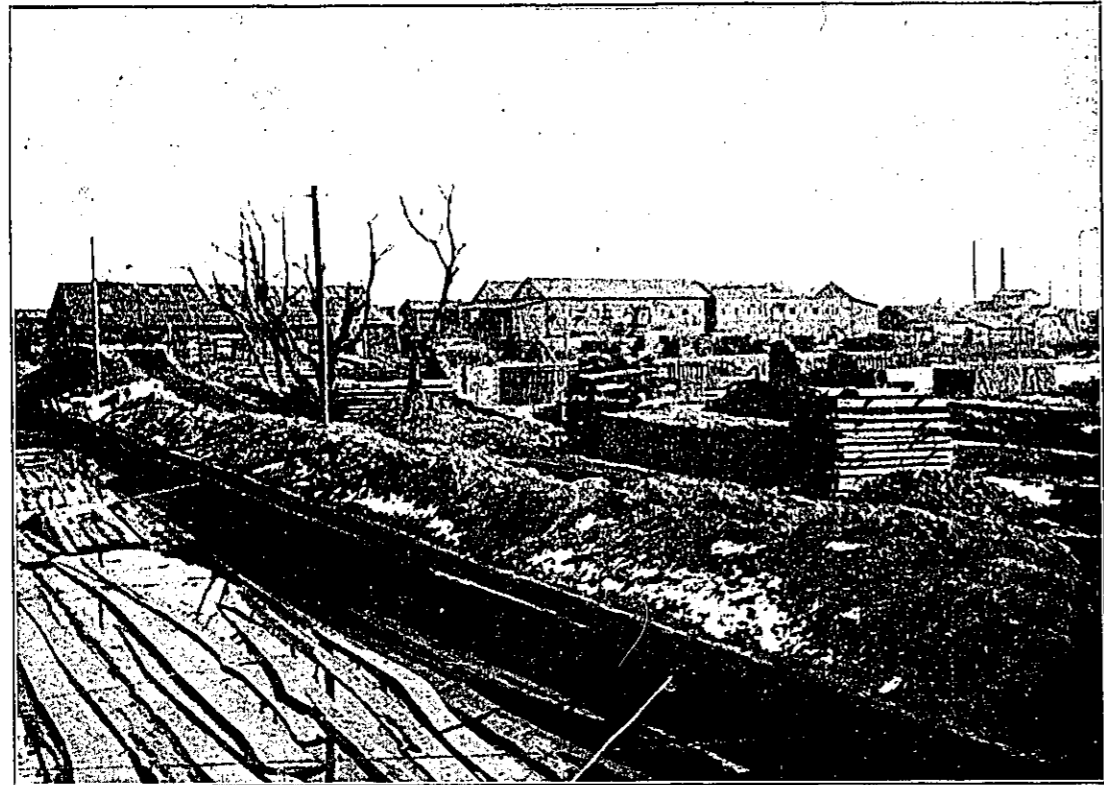
同上 近景
階上子供等ノ集レル部ハコノ建築特有ナル子供ノ遊場並婦女
ノ内職場ナリ
階下ハ共同炊事場ナリ

P-B
8



7447

P
11 7447 P-B
8



深川區豊住町和親館細民長屋全景
小サキ澤山ノ窓見ユル西洋式建築四棟是ナリ
一館ハ一昨年ノ大風雨ニテ壞サレタリ



同上 近景
階上子供等ノ集レル部ハコノ建築特有ナル子供ノ遊場並婦女
ノ内職場ナリ
階下ハ共同炊事場ナリ

P-B
8

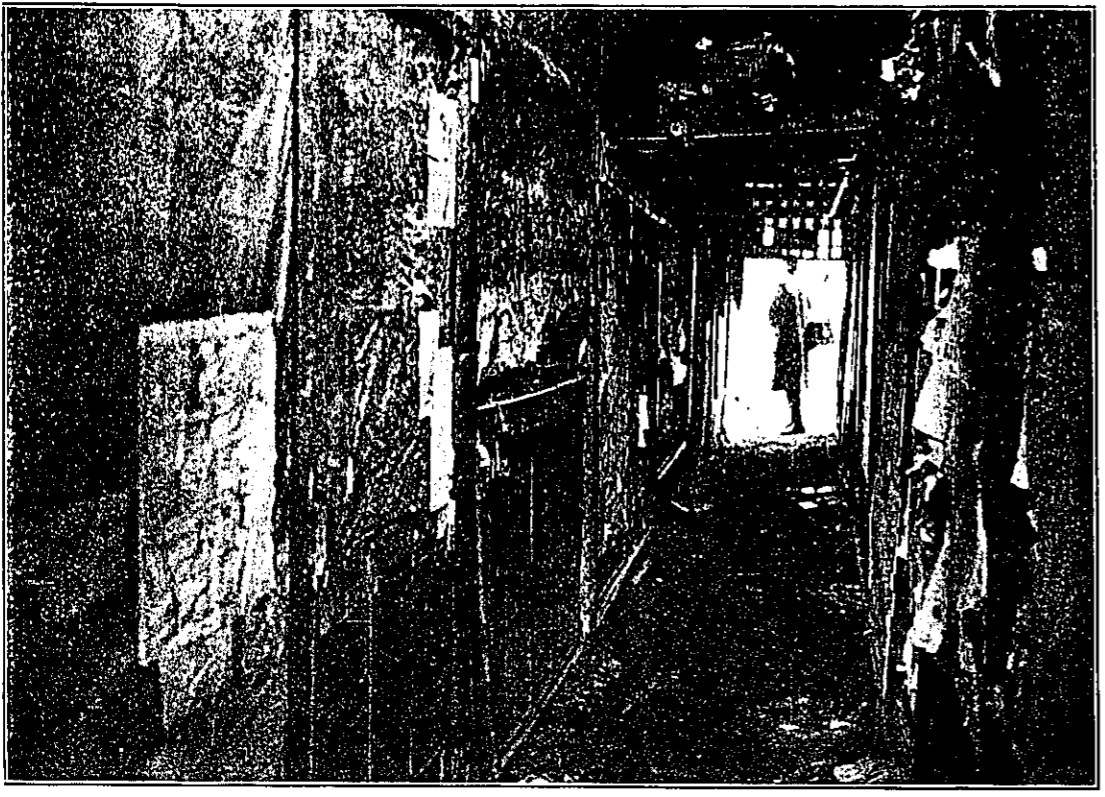


7447

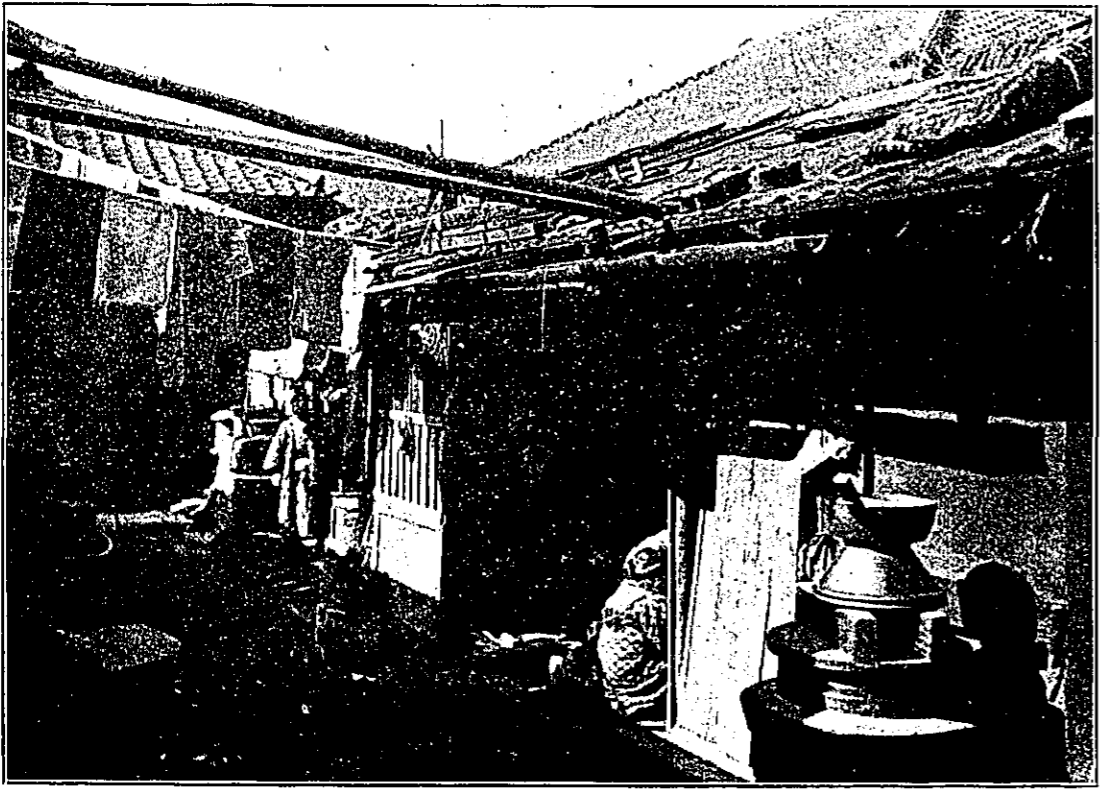
深川區豊住町和親館ニ於ケル婦女子ノ内職ノ實況ナリ。ヨノ内職ヲ彼等ハ「紙摺リ」ト稱ス、古雜誌等ノ天地ノ餘白ヲ切り取りタルモノヲ色分クニスルナリ、紙質ニヨリテ賃金ハ異ナルモ平均一貫目ニ付八錢ナリ



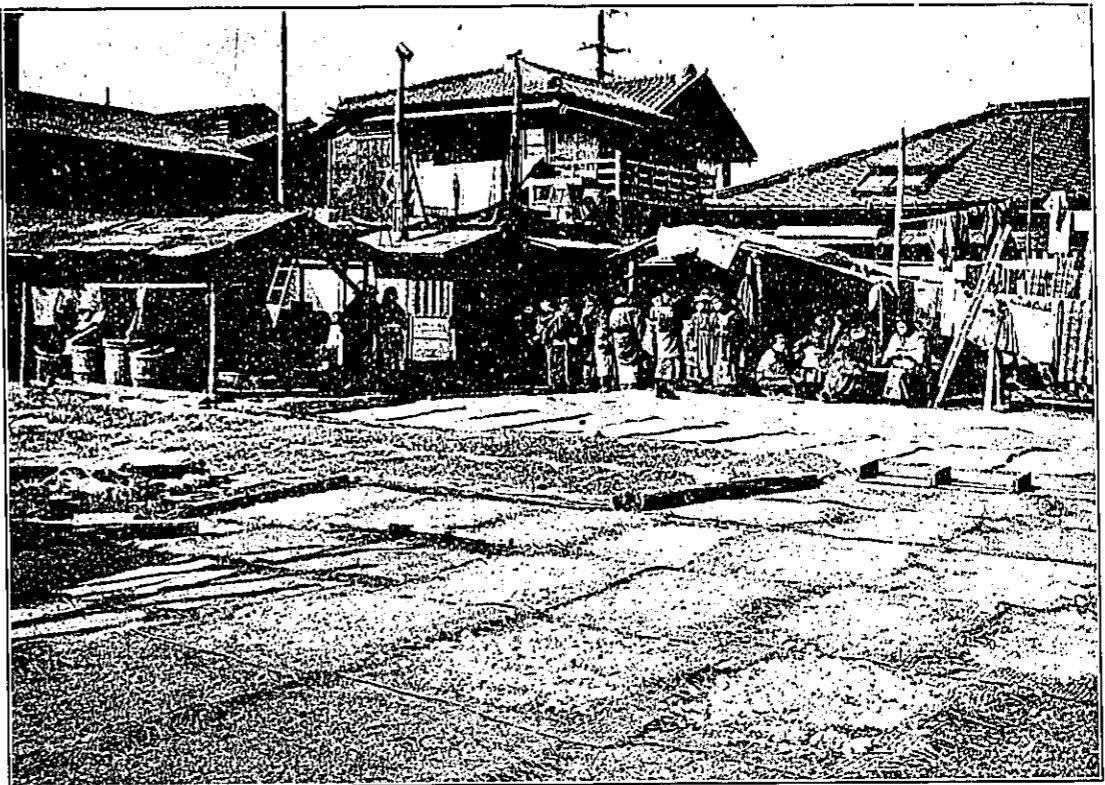
木所横川町七拾番地細民長屋ノ一部ニシテ俗ニ「ト」ン「ホ」ル長屋ト云フ、五尺ノ土間ヲ狭ミテ左右ニ一戸廣サ三疊ノ室並列ス、床下常ニ汚水ヲ見日光ノ恩恵少ク内外觀トモニ人ヲシテ哀愁ヲ禁セサラシム



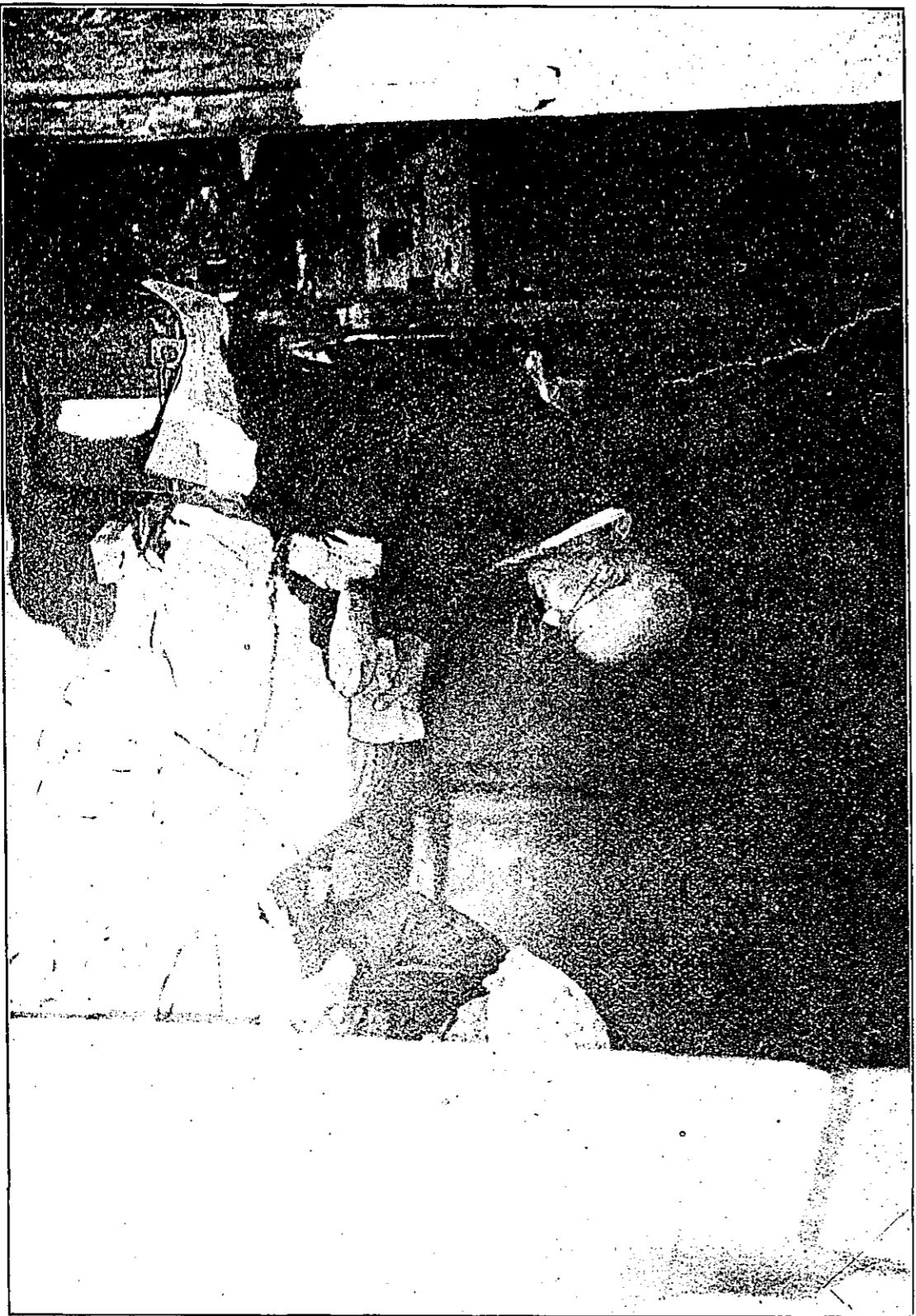
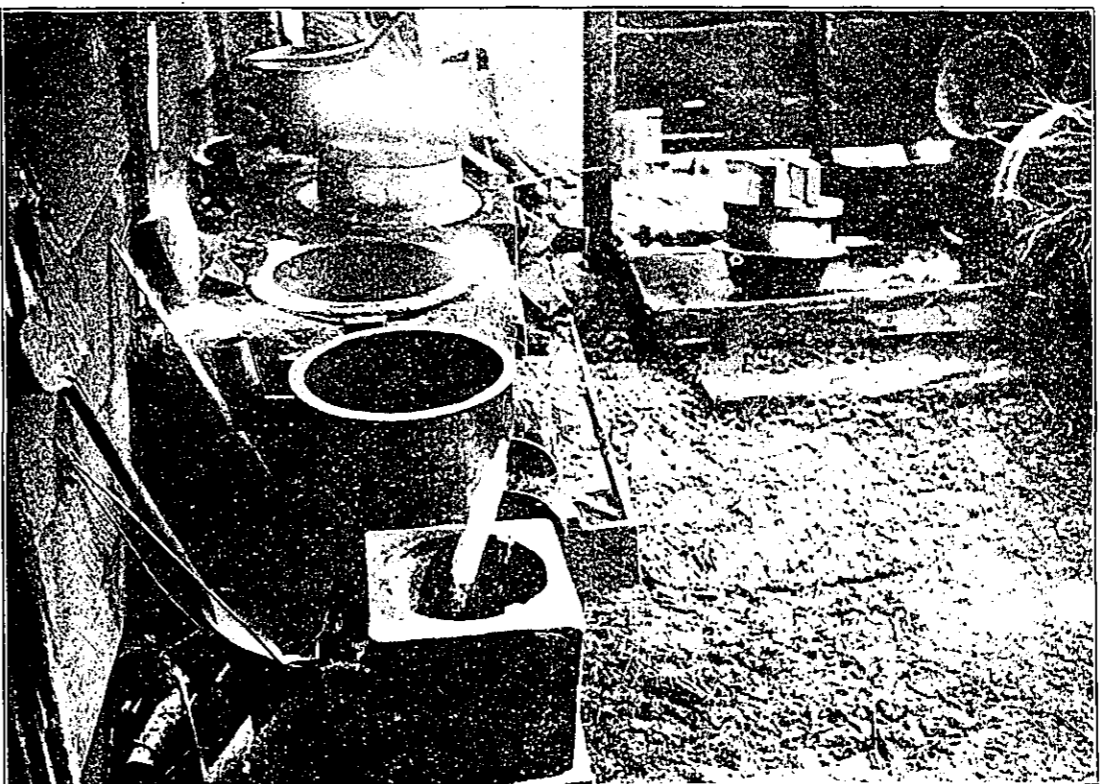
同上 長屋ノ一部
近景ニ見ユル釜ハ食事用ニアラズ煮小豆燗ノ所有セル商用釜ナリ



残飯屋ノ實景
 本所大平町ニアリ各種工場ノ残飯ヲ集メテ之ヲ販賣ス（本文參照）
 遠クノ方婦女ノ集レルハ残飯ヲ買フベク集リ待テル人々ナリ
 近ク進ニ延ベタルハ残飯ノ第二位ノモノニシテ（本文參照）乾
 シテ菓子ノ原料トナスモノナリ



本所横川町細民長屋ノ共同炊事場



本所區横川町細民長屋ニ住居スル吉野栄老夫婦生活ノ模様ナリ、老夫ハ六十六歳老婦ハ七十六歳ニシテ共ニ雑巾刺サナシテ生計ヲ維持ス、家計ト榮養トニ關スル研究ニ其材料タルコトヲ諸セリ、残飯ヲ以テ主食食物トナス

同	同	一日平均收入	一六六
同	同	支出	一五一
同	同	食費	一一四
同	同	家賃	三〇
同	同	一日一人攝取熱量	二三四
同	同	一日一人攝取蛋白質	八四
同	同	體重一基ニ付	二



本所區横川町細民長屋ノ兒童

保健衛生ニ關スル實地調査報告

本報告ハ本所區横川町七十並七十一番地、及深川區豊住町百三十六番地和親館ノ細民長屋ニ就テ行ヒタル實地調査報告ニシテ、横川町ノ調査ハ大正七年七月一日ヨリ同八月初旬マテ、豊住町ノ調査ハ大正七年十月一日ヨリ十一月中旬マテ、即チ兩調査地域ニ於テ約三ヶ月ニ涉リテ之ヲ完了セリ、其調査項目ヲ叙スレハ左ノ如シ

甲、社會衛生學的、社會病理學的觀察

- 一、土地、空氣及住居ニ關スル調査
- 一、住民ノ生活狀態ニ就テ
- 一、家族ニ關スル調査
- 一、住民ノ生物學的觀察
- 一、住民ノ體格ニ關スル調査
- 一、住民ノ疾病ニ關スル調査
- 一、住民ノ生産及死亡ニ關スル調査

乙、特殊ナル事項ニ關スル調査

一、乳幼兒ノ保育状態ニ就テ
一、勞働者ニ關スル調査

(イ) 幼年者ノ勞働ニ就テ

(ロ) 青壯年期ノ住民ノ職業ニ就テ

(ハ) 生活能力薄弱ナル住民ニ關スル調査

(ニ) 婦人ノ職業ニ就テ

一、下層民ノ家計ト榮養トニ關スル研究

一、細民ノ食物ニ就テノ榮養學的觀察

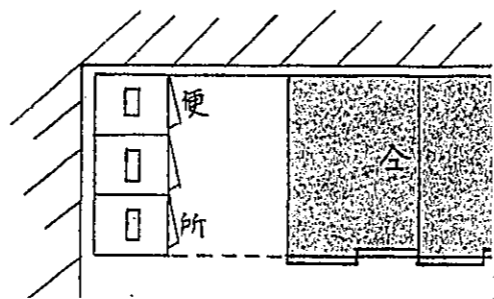
一、榮養學的結論

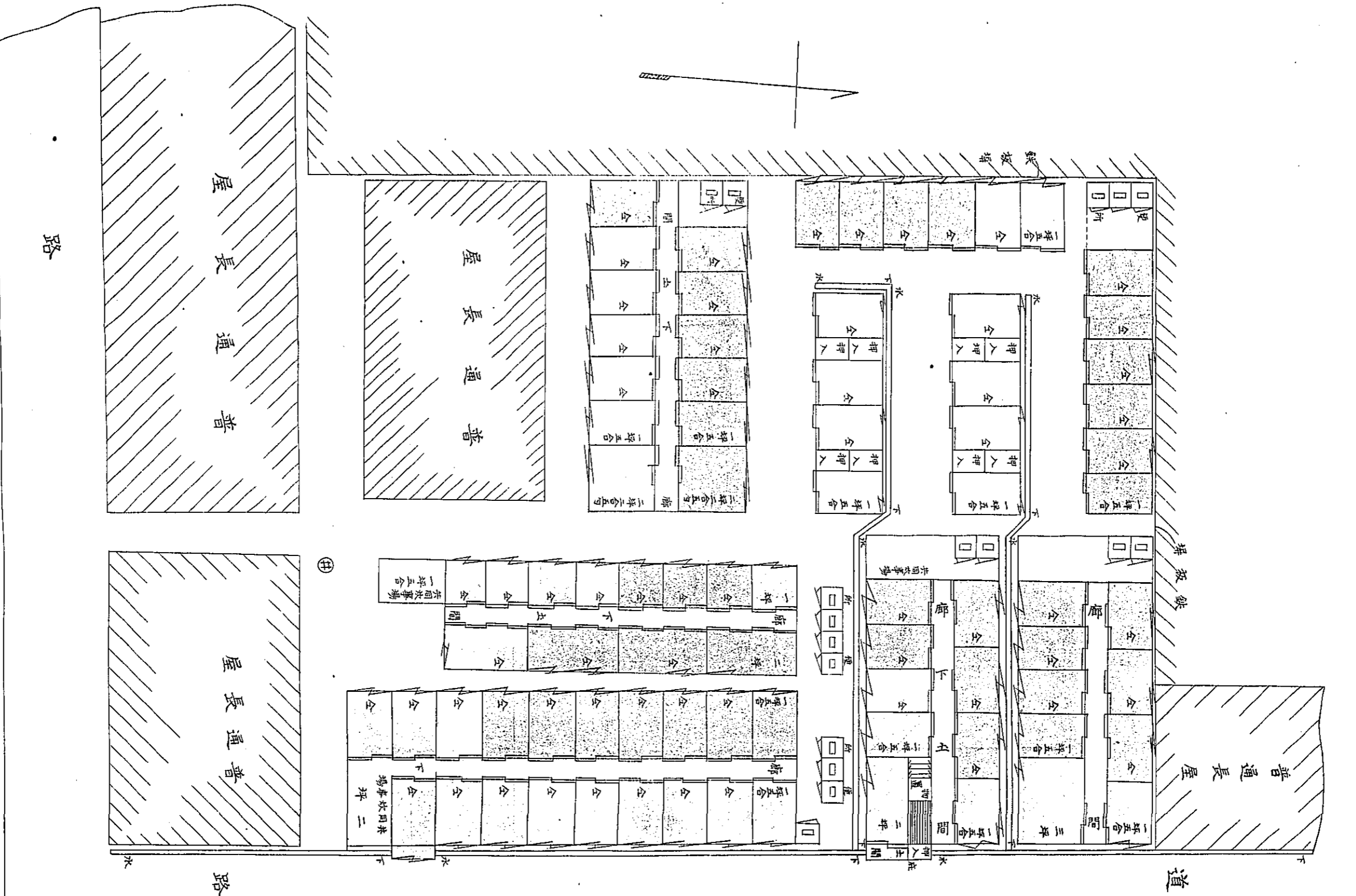
附 食品ノ供給ニ就テノ特異ナル事實

甲、社會衛生的學的、社會病理學的觀察

一、土地、空氣、住居

由來都市ノ細民ハ低地ニ住居ヲ占ムルヲ常トス、本調査ノ二地域モ其例ニ漏レス、甚シク濕潤ニシテ常人ノ住居トシテ良ク堪フル所ニアラス





- 例
- 室内、採光充分ナルモ、
 - 室内、採光最モ悪キモ、
 - 全ノ中間ニ位ルモ、
 - 天井、高々七尺五寸
 - 床、高々平均一尺六寸
 - 窓、六尺二尺ノ部位設ケテ、
 - 大寸部ニ障子

道

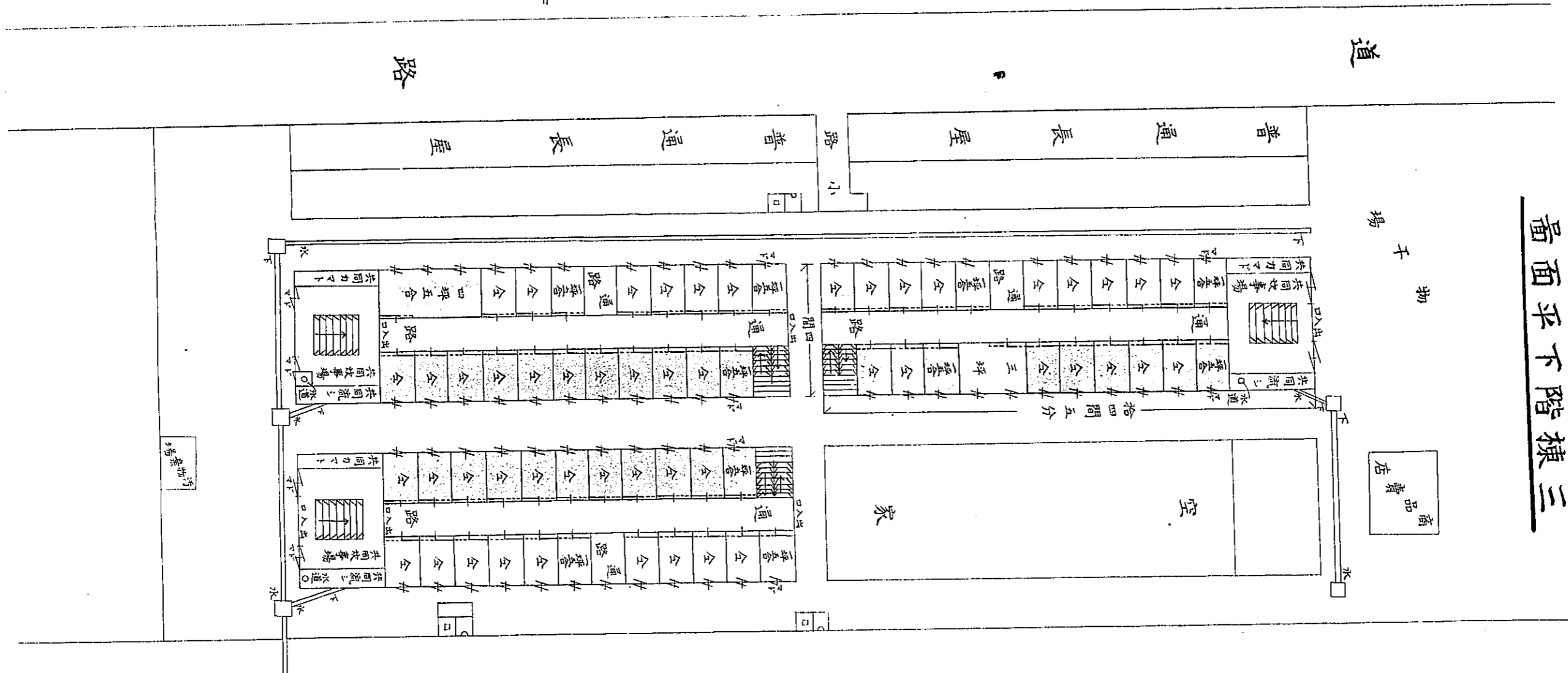
路

屋長通普

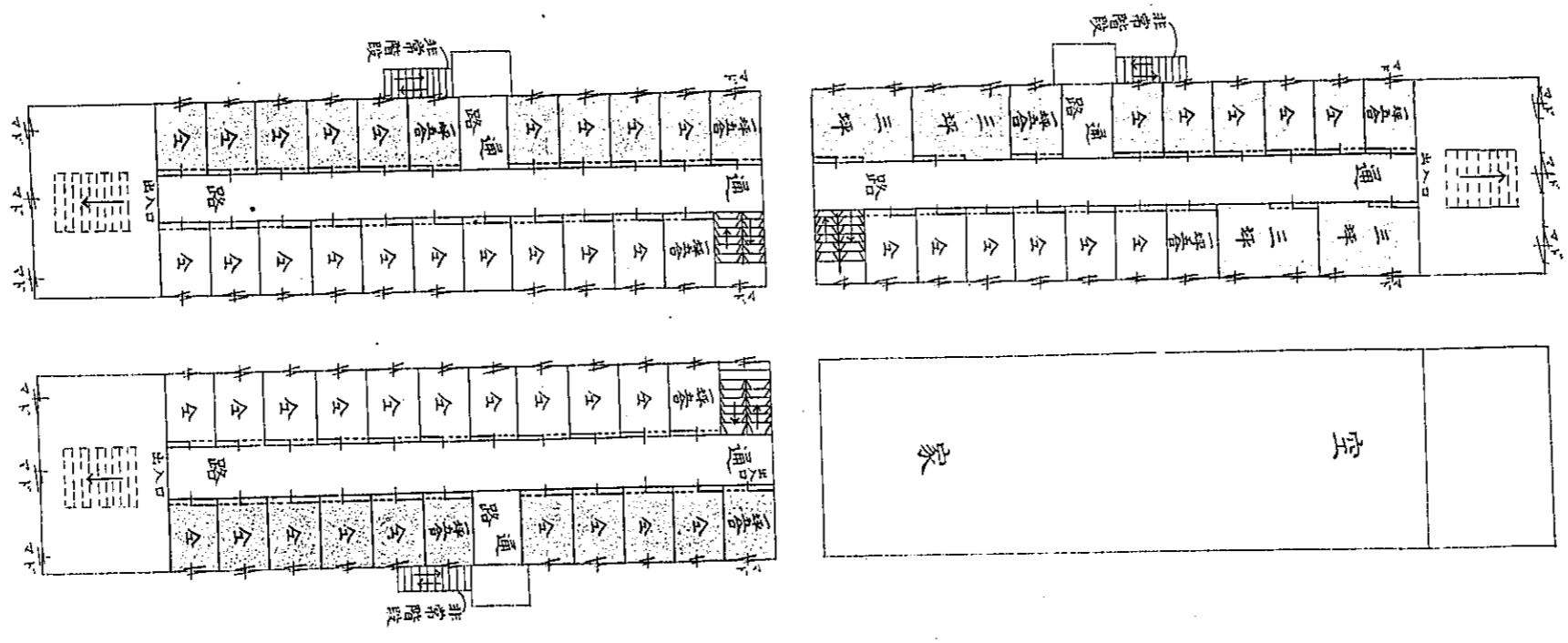
屋長通普

路

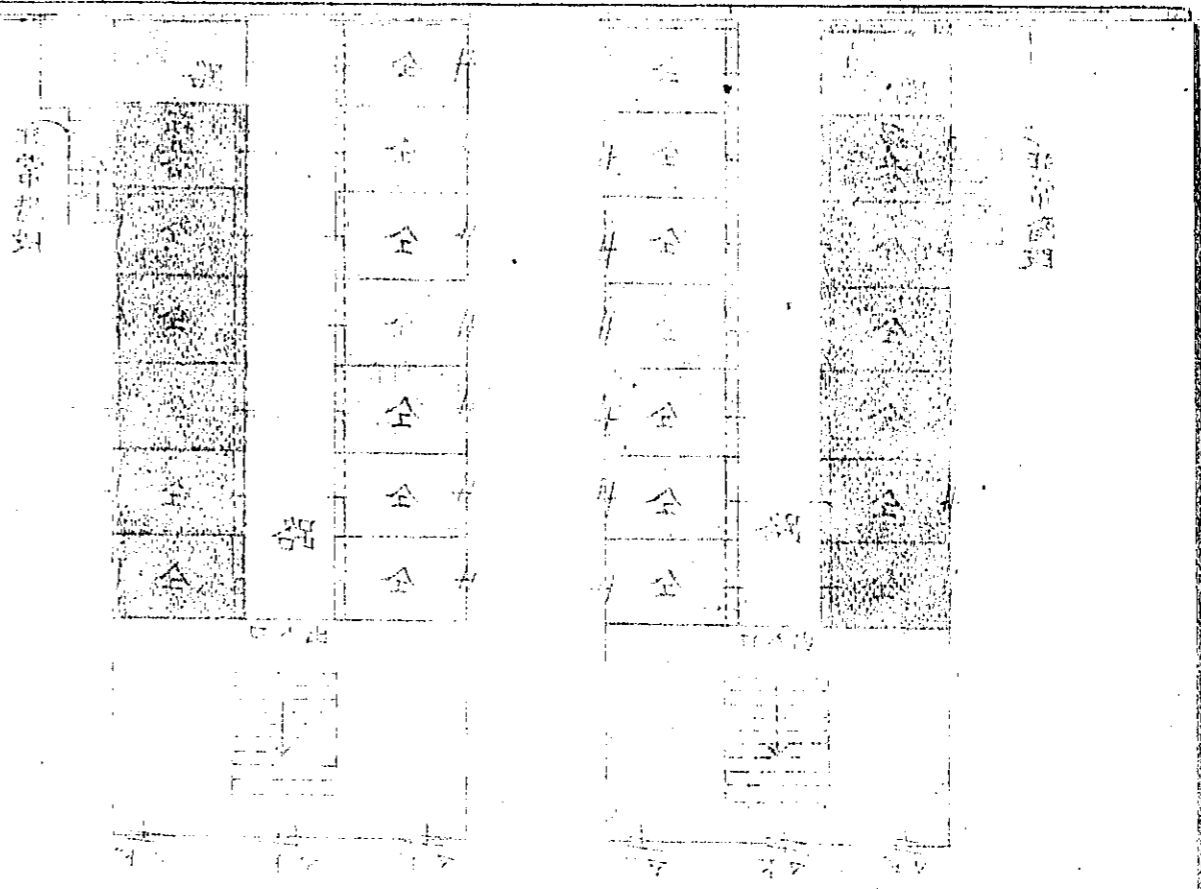
三棟階下平面圖



三棟階上平面圖



- 九
- 室内, 採光, 充分ナルモ,
 - 室内, 採光, 最悪ニキモ,
 - 全戸中間ニ位スモ,
 - 天井, 高サ九尺一寸
 - 床高サ平均ニ尺五寸
 - 窓床五尺, 部屋ニテ,
 - 大サハ三尺角
- 例



一、横川町方面

横川町ノ地ハ隅田川岸ヨリ豎川ニ至ル低地ニシテ排水ノ便ナク、一朝雨至レハ忽チニシテ下水ヲ満たシ更ニ便所ヲ浸シ、下水ト糞尿トヲ混セル汚水ハ住家ノ床下ヲ襲ヒテ永ク退クコトナシ、若シ此地域ヲシテ住居ニ適セシメントセハ先ツ二尺ノ地上ケヲナサ、ル可ラス

二、豊住町方面

豊住町ハ所謂深川ノ木場ニ接続スル地域ニシテ、排水ハ横川町ヨリ稍可良ナルモ降雨來潮ニヨリテハ往々ニシテ住居ハ襲ハルト雖トモ比較的不潔物ヲ残留セス、然レトモ元來低濕ノ地ナルヲ以テ住居ハ約二尺ノ積石ノ上ニ建築セラレ從ツテ床下ハ常ニ汚水ヲ溜溜セルヲ見ル、兩地トモ衛生上住居地トシテハ良好ナラサルモ建築上ニ於テ相當ノ顧慮ヲ拂ハル、ニ於テハ敢テ不適當ナル住居地ニハアラサルナリ

空 氣

深川區豊住町ハ郡部ニ近接シ比較的廣濶ノ地ニシテ戸口稠密ト謂フハカラス、加フルニ東京灣ニ近ク附近ノ工場モ又多數ヲ算セサルヲ以テ空氣ノ汚染セラルコト少シ、然トモ横川町ニ於テハ地域既ニ本所區ノ最モ繁間ナル部分ニ圍マレ、特ニ豎川以東ハ工場頗ル多ク空氣ノ汚染セラル、コト最モ甚タシトス、試ニ本廳衛生試驗所測定ノ炭酸瓦斯量及ヒ本調査員カ行ヒタル濕度ノ成績ハ左ノ如シ

本所區橫川町七十、七十一番地ニ於ケル空氣ノ検査 (大正七年七月卅一日晴天)

検査日時	温度(℃)	氣壓	場所	炭酸量千分中	適否
大正七年七月卅一日 午前九時五十分	三一	七五八	第二號長屋ノトンネル土間ノ中央	〇、六八〇	適
午前拾時	三二	七五八	第一號長屋ノトンネル金田氏屋內	〇、五一九	同
午前拾時五分	三一	七五八	瀨野リカ長屋便所ノ側	〇、五四〇	同
午後二時四十五分	三二	七五八	第二號長屋ノトンネル土間ノ中央	〇、四一五	同
午後三時五十分	三四	七五八	第一號長屋ノトンネル金田氏屋內	〇、四九一	同
午後三時五十五分	三四	七五八	瀨野リカ長屋便所ノ側	〇、五二七	同

該成績ヲ案スレハ炭酸瓦斯量ハ敢テ多カラサルヲ以テ日常ノ生活ヲ害セサルヘシト雖、此地域タル所謂東京市ノ工業區ニシテ幾多ノ煙突遠近ニ林立シ、風向ノ如何ニヨリテハ鼻ヲ覆ハサル可ラサルノ慘ナシトセス

大正七年七月十六日午後四時ヨリ午後六時ニ至ル本所區橫川町七十、七十一番地ニ於ケル湿度ノ試験

試験時日	試験ノ場所	甲寒暖計温度	乙寒暖計温度	湿度	差	絕對的濕氣
大正七年七月十六日	小野崎ノ長屋	二五・八	二四・四	一・四	・	二二・〇三

平均	計	均	至自	午後	六時	四時	
同	同	同	第一號トンネル中央地上五寸	二六・六	二四・六	二・〇	二二・七四
同	同	同	第一號西側北ヨリ室二目	二六・二	二四・二	二・〇	二二・一八
同	同	同	第一號東側南ヨリ三室	二六・二	二四・八	一・四	二二・五七
同	同	同	第二號東側北ヨリ二軒目	二六・五	二四・八	一・七	二二・七四
同	同	同	第二號西側北ヨリ三軒目	二六・六	二四・七	一・九	二二・七四
同	同	同	差配ノ住家	二六・八	二四・八	二・〇	二二・九四
同	同	同	吉野幾喜ノ住家	二六・二	二四・四	一・八	二二・二九
同	同	同	田中房吉ノ住家	二六・〇	二四・五	一・五	二二・二二
計							二二・四五
平均							二二・四七

以上ノ成績ヲ同日同時刻ニ於ケル中央氣象臺ノ絕對濕氣量ト比スルニ

大正七年七月十六日午後四時ヨリ午後六時ニ至ル中央氣象臺測定

時間	乾球	濕球	湿度百分率	水蒸氣張力	絕對的濕氣
午後四時	二五・五	二三・六	八二	一九・九	二二・三五
午後五時	二五・四	二三・六	八三	二〇・〇	二二・二五
午後六時	二五・一	二三・四	八四	一九・九	二二・九〇
計					六七・五〇

平均	二二五〇
----	------

即チ百立方「ミリメートル」ニツキ中央氣象臺ニ於ケル測定ニ超過スルコト約一瓦ナルヲ見ル、此ノ如ク絶對的濕氣ノ多量ナルハ肉體的、精神的、生活ニ影響スル所甚タ多ク、生活ハ倦怠ヲ生ミ精神ハ活氣ヲ失ヒ、漸次潑瀾タル生活力ヲ失フニ至ルヘキヲ思ハシメタリ

一、住居

横川町細民長屋

九棟八十三戸(内一戸ハ二階)ニシテ内五棟ハ所謂棟割長屋ニシテ四棟ハ普通ノ長屋ナリ
 九棟ノ長屋ハ前後左右ニ相接シテ建築セラレ、各長屋ノ間隔ハ三尺乃至九尺ニシテ下水此處ヲ通ス別ニ共同便所五個ヲ有シ最モ近キ住居トハ僅ニ三尺ヲ隔ツルノミ、共同炊事場ヲ有スルハ棟割長屋ハ四個ニシテ他ハ皆三疊ノ住居内ニ於テ炊事ヲナス

床下

床下ハ濕潤ニシテ常ニ汚水ノ滲溜セルヲ見ル加之ノミナラス、降雨ニヨリテ下水ハ直チニ床下ニ浸入シ汚物ト汚水ハ長ク退カス、細民ハ斯ル床上ニ於テ、或ル者ハ疊上ニ、或ル者ハ一枚ノ上敷ノ上ニ、起臥シツ、アルモノニシテ床ヨリ地面ニ至ル高サハ一尺六寸ナリ

採光ニ就テ

採光ノ悪シキモノ	四三
採光ノ良キモノ	二〇
中間ノモノ	二〇

各戸ノ廣サ

一坪五合ノモノ	八〇
三坪ノモノ	二
二坪ノモノ(階上)	一

各戸ノ廣サ(體積)

奥行	九尺
間口	六尺
床ヨリ天井マデ	七尺五寸

即チ各戸ノ大サハ四〇五〇〇立方寸ニシテ一、一七八立方米突ナリ、住居ノ大サニ就テハ衛生學上大人一人ニ付キ一〇立方米突、小人一人ニ付キ五立方米突以上ト規定セリ

若シ此ノ規定ニ從フトキハ獨身者ノ住居トシテハ先ツ可ナルヘキモ二人以上ニハ適セサルモノナリ即チ獨身者ノ十五戸ヲ除ク他ノ二十三戸ニ對シテハ頗ル狹隘ナルヘキヲ以テ衛生上鮮カラサル傷害ヲ受ケツ、アルモノト認メサルヘカラス、然レトモ該長屋ハ既ニ二十年ノ歲月ヲ經過シ年々多少ノ修理ヲ加ヘアリテ、其構造バ甚タ不完全ナカラモ換氣ハ自然ニ行ハレツ、アルヲ以テ豫想ホト其傷害ハ甚タシカラサリシカモノ、如シ

豊住町細民長屋

貳階棟割長屋四棟ニシテ内一棟ハ一昨年ノ風水害ニヨリテ破壊セラレ目下住居トシテ使用セス、現在細民ノ住居セルハ三棟ニシテ各棟ハ一階ニ付キ二十二戸ヲ算シ階上階下合テ四十四戸ヨリ成ル、即チ戸數總數ハ百三十二戸ヲ有スレトモ内二戸ヲ使用セルモノ七戸アルヲ以テ住居ノ數ハ合計百二十五ナリ

土地低濕ナルヲ以テ建築ニアタリ地上ケヲ行ハントシタレトモ費用ノ爲ニ斷行スルコト能ハス、僅カニ高サ七寸ノ石三層ヲ積ミ上ケテ二尺一寸ノ土臺ヲ築キ、其上ニ長屋ヲ建築セルモノニシテ床下ハ横川町以上ニ汚水ノ滯溜スルヲ見ル、コレ豊住町ノ地域ハ種々ノ汚物ヲ齎ラセル潮水ノ浸入ヲ受ケ退潮時ニ之ヲ床下ニ殘シ去ラル、ヲ以テ場合ニ因リテハ潮汐毎ニ其數量ヲ加ヘラル、コトナシトセス、(床板ヨリ土臺石迄床ヨリ土臺石迄一尺、椽ノ下ノ高サ參尺壹寸)床上ノ疊ハ斯ル濕氣ノ爲ニ腐蝕スルコト速カニシテ貳ケ年ノ用ニ堪ヘスト云ヘリ

採光ニ就テ

各戸ノ廣サ

家ノ大サ

採光ノ長キモノ	三八	一坪五合ノモノ	一一九戸	奥行	八尺四寸
採光ノ悪シキモノ	三一	三坪ノモノ	五戸	間口	五尺四寸
中間ノモノ	五六	四坪ノモノ	一戸	床ヨリ天井マテ	九尺一寸

四一二七七六立方寸即チ約一一立方米突ニシテ、横川町ノ項ニ於テ述ヘタルカ如ク衛生上ノ規定ニ從ヘハ到底二人或ハ其レ以上ノ家族ノ住居トナスヘカラサルヤ明ラカナリ、而カモ和親館ニ於テ最モ注意スヘキハ其建築ノ様式カ西洋式木造ニシテ、横川町ノ粗雜ナルニ比シテ遙カニ良好ナルモ換氣ノ點ニ於テハ横川町ニ及ハス、即チ本住居ニ於テハ一戸毎ニ縦二尺三寸横二尺六寸ノ硝子窓一個ヲ有シ他ノ部分ハ比較的密閉サレタルカ故ニ換氣從ツテ不良ナリトス

附 言

豊住町和親館ハ比較的細民長屋中ニ於ケル優良ナルモノニシテ、其共同炊事場ノ設備ノ如キモ煤煙ノ排出ニ一工夫ヲ加フルトキハ稍ヤ完全ニ近キモノタラシムヘキナリ、特ニ階下ノ中央ニハ左右ニ出口ヲ設ケタル、或ハ階上ニ於テハ必ス中央階下及同便所ニ通スル非常口兼通路ヲ備ヘタルコト、及階上ノ一方ニハ五坪ノ廣場ヲ設ケ雨天ニハ小供ノ運動場タラシメ、又主婦等ハ此所ニ於テ内職ニ従事スルノ便ニ供シタルアリ

一、住民ノ生活狀態ニ就テ

本調査區域ニ在住スルモノハ其全部カ下級労働者又ハ細民ニシテ所謂都市生活ノ敗殘者ト目スヘキモノナリ、サレハ或ハ體質上ニ缺陷ヲ有シ、或ハ恐ルヘサ父祖ノ遺傳ヲ受ケ、或ハ精神的弱質ヲ以テ生レ來リ、或ハ激甚ナル生存競争ニ敗レタルカタメニ、老衰男女相率テ環境ノ彼等ノ生活ニ適セル地域ニ集リ來タルモノニシテ、其過去ニ於テ種々ナル歴史ヲ有スルモノナリ、是等ノ家族相集リテ一團ヲナスカ故ニ此處ニ自然一個ノ特異ナル社會ヲ形成スルニ至レリ

彼等一家ノ相率キテ所謂細民長屋ニ投スルヤ、漸次環境ニ馴化セラル、ヲ以テ、生活意志ハ薄弱トナリ道德的精神ハ傷ケラレ、而カモ不安ナル生計ト不規則ナル生活トハ其健康ヲ低下シテ益々悲惨ヲ

襲ネシム、然レトモ彼等ノ細民長屋ニアルヤ第三者ノ憂フルカ如ク爾ク悲惨ト不安ヲ感スルモノニアラスシテ、寧ロ平安ト社會ヨリ釋放サレタル一種ノ自由トニ満足シツ、アルニアラサルカラ疑ハシム

(イ) 家族ノ節制ニ就テ

家族ノ節制ノ如何ハ其家族ノ精神的並肉體的生活ニ及ホス所甚大ナリ、本調査區域ニアル住民ノ日常生活ハ頗ル亂雜ニシテ家族ニ節制アルモノハ稀ナリ、而シテ稀ニ節制アル家族ハ其生計ハ勿論、幼兒ノ保育學童ノ成績モ亦從テ良好ニシテ家族的生活ハ頗ル圓滿ナルヲ見ル、然レトモ斯ル規律アル家族ハ甚タ稀ニシテ大多數ノ生活ハ、全家族ヲ舉ケテ不規律ト不節制トヲ以テ混亂ナシツ、アルモノニシテ其狀實ニ憐ムヘキナリ

(ロ) 主婦ノ動作ニ就テ

主婦ハ未明ニ起キテ遠ク勞働ニ赴クヘキ其主人ノタメニ萬端ノ用意ヲナサ、ルヘカラス、豊住町ニ於ケル主婦ノ起床ハ實ニ午前三時半ニシテ同五時ニハ勞働者ノ大部分ハ既ニ長屋ヲ出立スルモノナリキ、而シテ主婦等ハ其主人ヲ送り出スヤ敏捷ニ家事ノ整理ニ就クモノハ殆ント稀ニシテ多クハ不潔不節制ナルヲ常トシ、且ツ晏如トシテ墮落セル環境ノ同化ハ遂ニ習性トナルニ至リシモノ、如シ

斯クシテ主婦ノ朝食ノ跡始末ヲ終ルヤ、或ハ子女ヲ負ヒ或ハ手ヲ引キテ爲ス所ナク逍遙シ、或ハ近隣ニ談笑シ或ハ子女ノ喧嘩ノ爲メニ奸聲ヲ舉ケテ激怒スル等、日中ノ長屋ハ實ニ混亂名狀スヘカラス

然ラサルモノハ室内ニ子女ヲ擁シテ横臥シ爲ス所ナク消光スルヲ目撃セリ

然レトモ斯ル不節制ハ其因スル所凡テ怠惰ヨリ來ルモノトハ限ラレス、彼等ノ中ニバ子女ノ多數ナルカ爲ニ其保育ニ手足ノ全部ヲ捧ケサルヲ得サルモノアリ、又午前三時半ノ起床ハ決シテ彼等ニ適當ナルモノニアラス、其主人ヲ送り出スヤ横臥ヲ求ムルモ亦睡眠ノ不足ト疲勞トノ大ニ與ツテ力アルコトナリ、斯クシテ夕ヘニ勞働者ノ歸來スルハ七時ヲ通例トスルカ故ニ、其歸來スル迄ニ夕食ノ準備ヲ整フハ約半數ト見テ可ナリ、而シテ殘ル半數ハ主人ノ歸來ノ途スカラ市場ニ於テ安價ナル生魚、馬肉、牛肉ノ細切り等ヲ買ヒ來ルヲ待ツモノニシテ、薄暮ノ混亂ハ這般ノ長屋生活ニアラスンハ蓋シ見ル能ハサルノ喧擾ヲ呈スルモノナリ、食事畢ルヤ主人ト子供トハ直ニ寢ニ就クモノ多ク主婦ハ談笑ノ間ニ其跡仕末ヲナセリ、其他洗濯、裁縫等ノ拙劣ナルハ子女ノ日常纏ヘル衣服ヲ見テモ明カナリ

(ハ) 婚姻ニ就テ

住民ノ殆ト全部ハ内縁ノ夫婦ニシテ正當ナル法律上ノ手續ヲ履行セルモノハ百廿六組ノ夫婦中十八組ヲ見ルノミ、若シ彼等カ戸籍上ノ關係ヲ整理セントセハ蓋シ非常ナル困難ト日數トヲ要スルコトナルヘシ、而シテ結婚ノ當時ヨリ夫婦關係ヲ保持スルモノハ百廿六組中九十組ニシテ餘ハ皆再縁ニシテ結婚度數ノ最モ多キモノハ男子ノ十度ノモノ一名ナリトス

結婚率數	計	
	女	男
一回	九四	九〇
二回	二五	二九
三回	五	四
四回	二	九
五回	一	二
六回	一	一
七回	一	一
八回	一	一
九回	一	一
十回	一	一

女子ノ再縁者ノ多クハ前夫ノ子女ヲ連レテ結婚セルハ大ニ注目スヘキコトニシテ、離婚ニ際シ男子ハ其子女ノ將來ノ如何ヲ考慮セサルカヲ思ハシム、故ニ離婚セラレタル女子ハ又何等ノ逡巡ナク第二、第三ノ男子ヲ求メ連子ノ儘之ト同棲スルニ至ル、從テ其等ノ子女モ亦如何ニセハ生活ノ助力者トナシ得ヘキカ、即チ子女ヲ以テ生計ノ資トナサントスル彼等ノ苦慮モ亦カ、ル變則ナル家庭組織ノ状態ヨリ來ルモノナラン、

(二) 住民ノ勤惰ニ關スル調査

下級労働者又ハ細民生活上ノ缺陷ヲ調査スル必要上彼等ノ一般社會ニ比シテ怠惰ナルヤ將タ勤勉ナルヤニ就テ觀察セリ、

觀察シタル日數 廿五日間
 觀察シタル労働者 卅五人
 右廿五日間ノ延人員 八百七十五人

但シ七月十五日、十六日ノ益々休日ヲ除ケハ 八百〇五人
 此期間ニ於ケル休業人員 百三十八人

一日平均 六・三人
 一日ノ休業率 一・八・%

休業ノ理由

休業人員	百卅八人中	
怠惰又ハ理由ナキモノ	六十三人	四五・六五%
休息又ハ疲勞ノモノ	五十一人	三六・九五%
周囲ノ事情ノ爲ニ止ムヲ得ス	十三人	九・四二%
仕事ナキ爲メ	六人	四・二七%
病氣ノ爲メ	五人	三・六二%

即チ七月中ハ十二日ノ半日ヲ除キ皆晴天ニシテ、戶外労働者ニ對スル天災的労働障碍ハ起ラザリシニ拘ラス、其休業率ハ一日百ニ就テ十八人ノ多數ニ昇リ、更ニ其休業ノ原因ニ就テ見ルニ怠惰又ハ理由ナキモノヲ最多トシ、休息又ハ疲勞ノモノヲ次位トシ、所謂仕事無キ爲メノ休業ハ僅ニ四%ニ過キス、而シテ更ニ休息又ハ疲勞ノモノニ就テ之ヲ觀察スレハ彼等ノ體格若クハ體質ハ能ク過激ナル労働ニ服シ激甚ナル生存競争ニ堪ヘサルヲ語ルモノナリキ

一、家族ニ關スル調査

貧乏ノ原因ニ關スル調査

貧乏ノ原因ニ關スル調査ハ細民ノ家庭生活ヲ知ル上ニ於テ最モ重要ナルモノナリ、兩調査區域ノ細民ニ就テ見ルニ左ノ結果ヲ得タリ

細民トナリシ原因

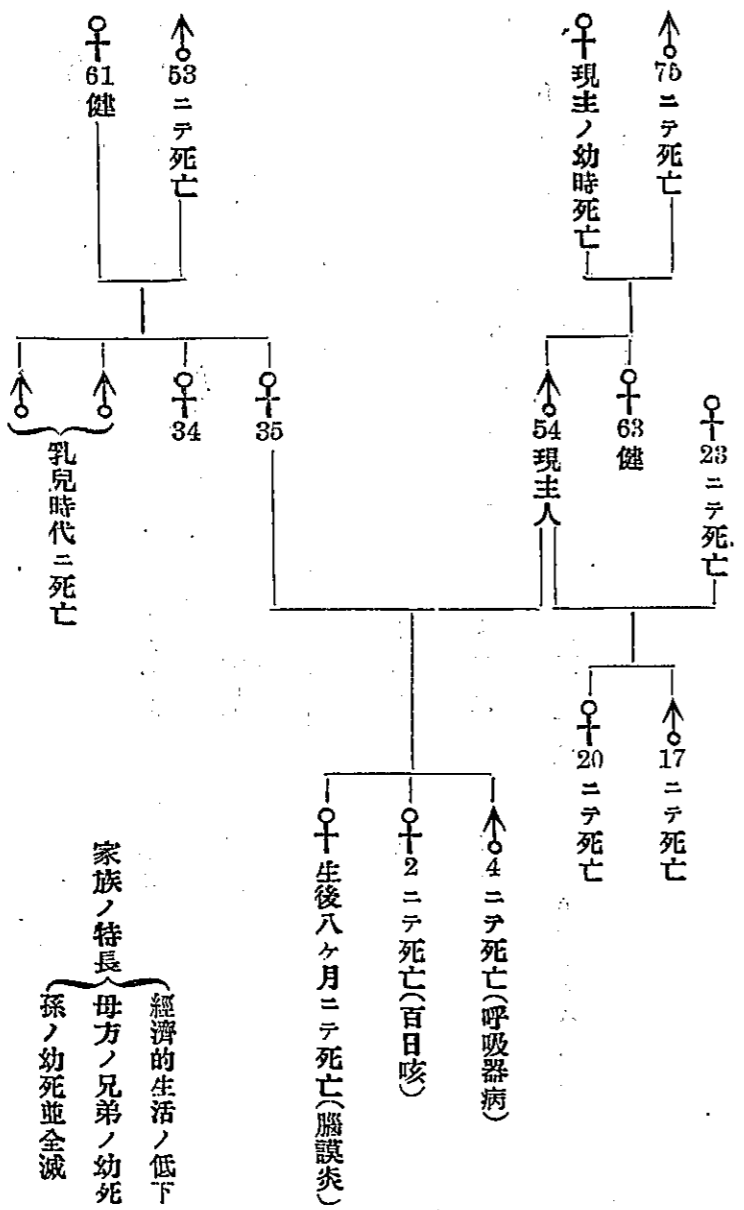
種別	人員	細民百ニ對スル比	種別	人員	細民百ニ對スル比
家計主又ハ家族ノ疾病ノタメ	四四	二七・五	火災水害凶作等天災ノタメ	一二	七・五
事業ノ失敗ノタメ	三七	二三・一	家計主ノ死亡ノタメ	四	二・五
轉業又ハ事業ヲ厭ヘルタメ	二一	一三・一	家族ノ多キタメ	二	一・三
父祖ノ代ヨリ細民	一九	一一・九	原因不明ノモノ	三	一・九
酒色ノタメ	一八	一一・三			

前表ヲ案スルニ細民タリシ原因トシテ最モ注目スヘキハ第一ハ家計主又ハ家族ノ疾病ナリ、即チ細民ハ其經濟的生活ノ基礎甚シク不安ナルノミナラス、先天的或ハ後天的ノ體質上ノ弱點ハ往々種々ナル疾病ノ襲フ所トナリ遂ニ起ツ可カラサル社會的地位ニ陥リシモノナリ

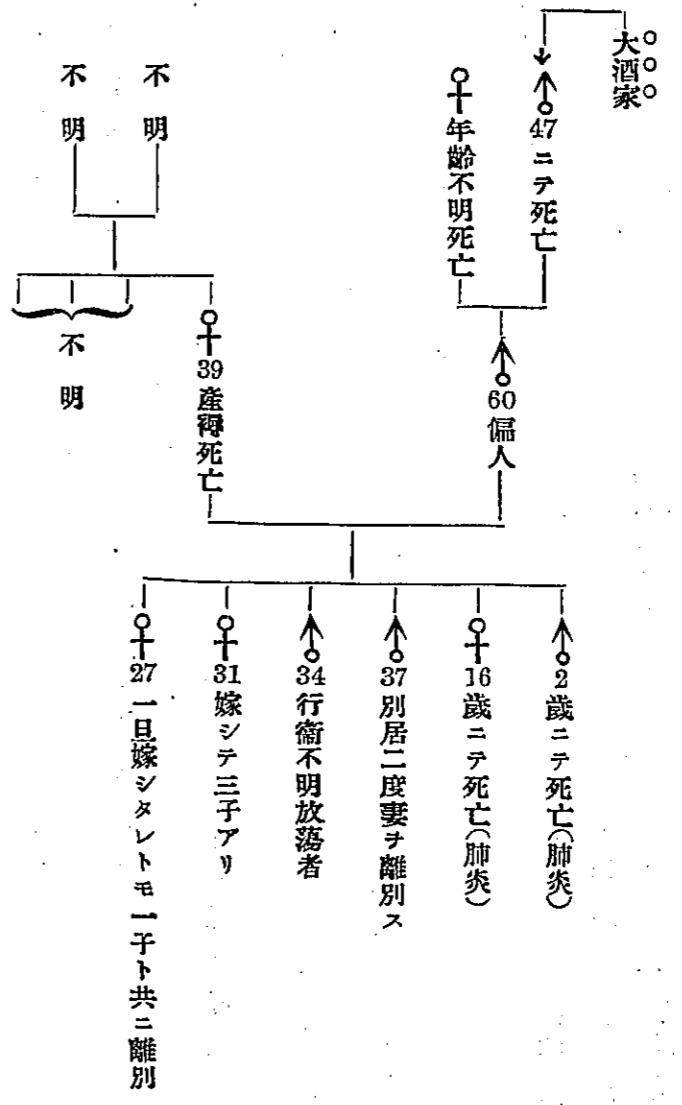
第二ハ事業ノ失敗ニヨル細民ニシテ即チ時代ノ推移ト各國人ノ能力ノ如何ニ因スル結果ニシテ要ハ一般國民的ニ俟タサル可カラス

第三ハ轉業ニ因ル社會的生活ノ下落ナリ、即チ彼等ハ轉業ニヨリテ從來慣レ來リタル職業ノ革命ニ

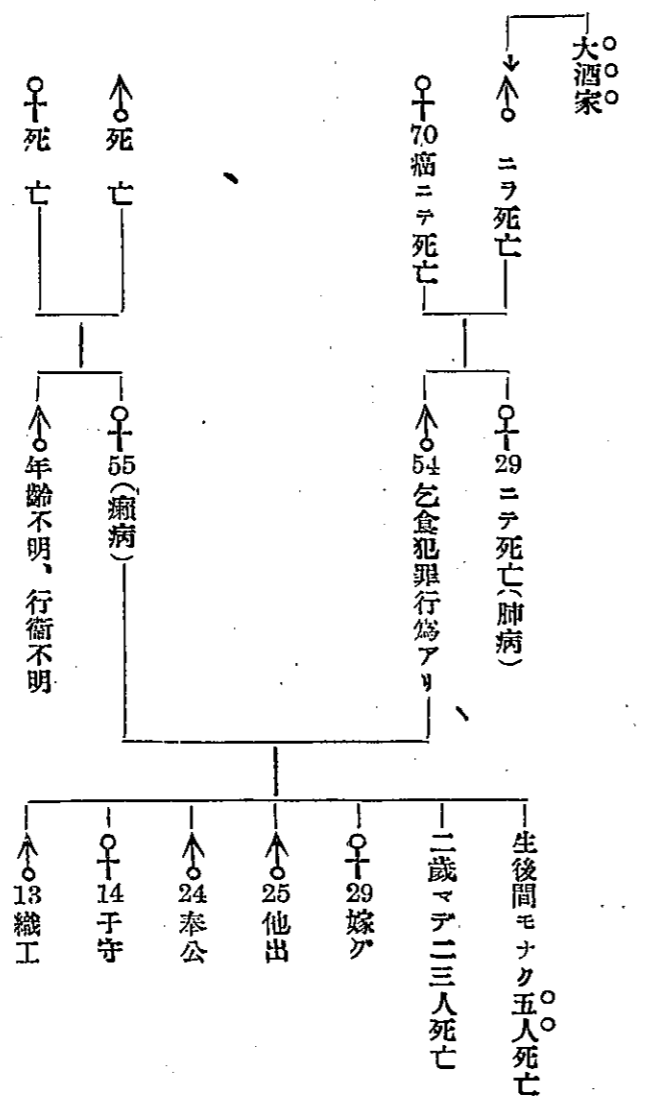
遇フノミナラス、生理的生活ノ上ニ衛生的生活ノ上ニ大ナル變化ヲ餘儀ナクセラレ、是迄座業若クハ精神の勞働ニ服シタルモノ一朝ニシテ過激ナル筋肉的勞働ニ轉シ、或ハ技術者カ一轉シテ力役ニ服スル等、急激ナル變化ノ生活ニ及フヲ以テ彼等ノ健康ハ之ニヨリテ傷ハレ、從テ經濟的生活ハ漸次低下スルヲ如何トモスル能ハサルナリ、第四ハ酒色ニ原因スル細民ニシテ大酒ニ因スル害毒ノ餘弊ハ左ノ如シ



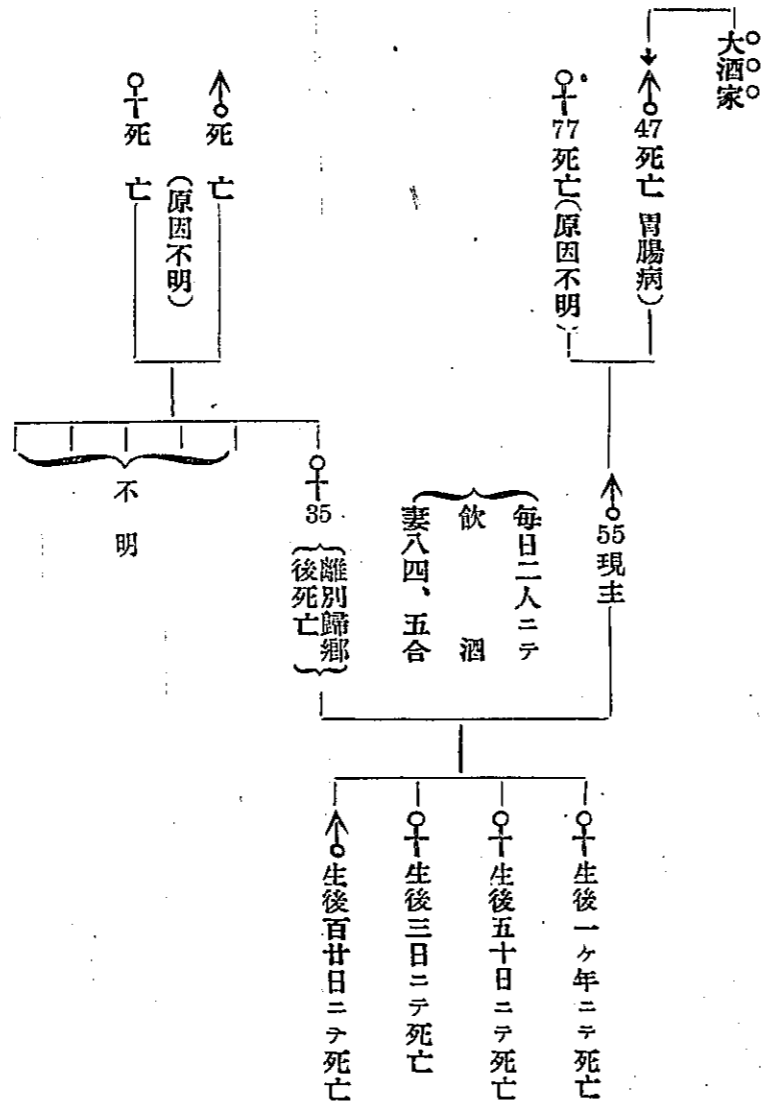
經濟的生活ノ低下
 家族ノ特長
 母方ノ兄弟ノ幼死
 孫ノ幼死並全滅



經濟的生活ノ低下
現主ノ偏風
家族ノ特長(子女ノ肺病、放蕩息子)
其他道德的欠陥ヲ意味スル行ニ(離別)



家族ノ特長
父ノ兄弟ノ肺病
父ノ行狀
孫ノ早死
經濟的生活ノ低下



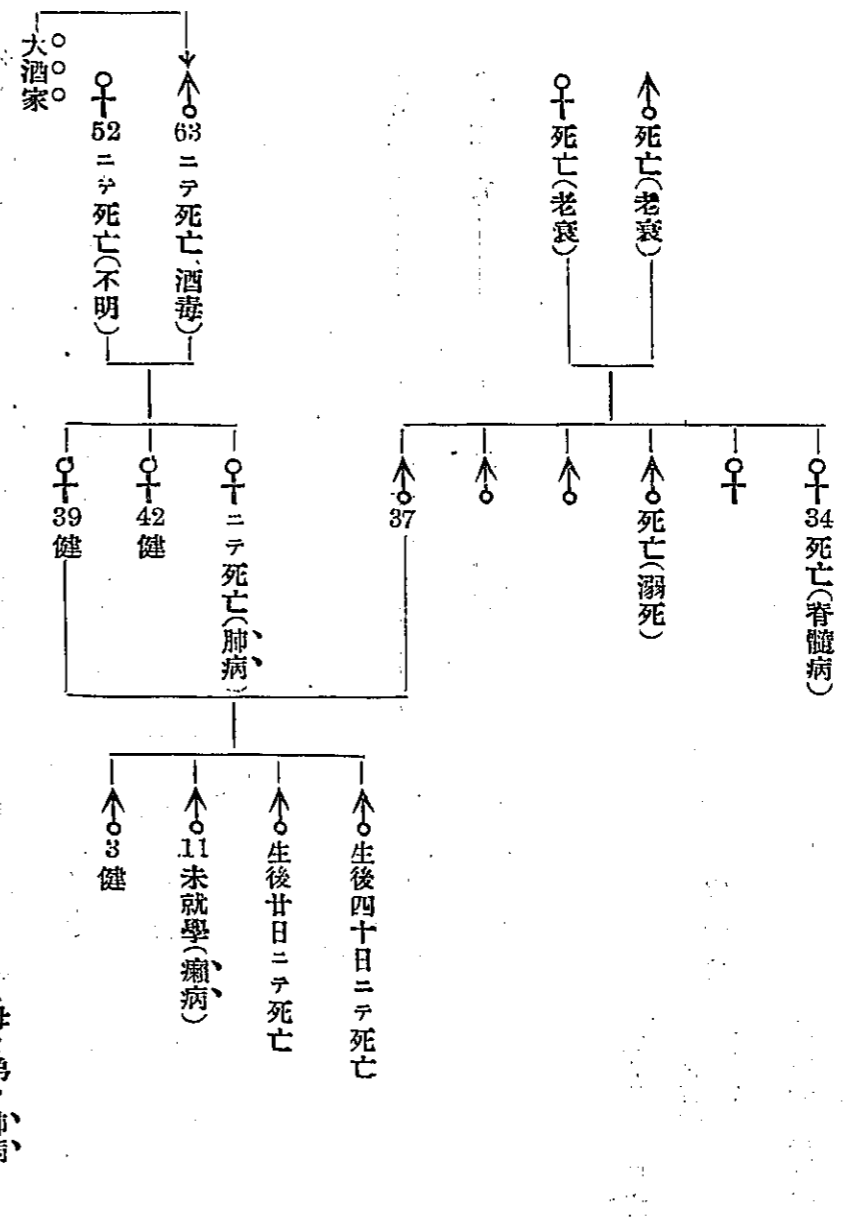
家族ノ特長

現主ノ酒精中毒症狀

妻女ノ飲酒

子女ノ全滅其幼年死

經濟的生活ノ低下



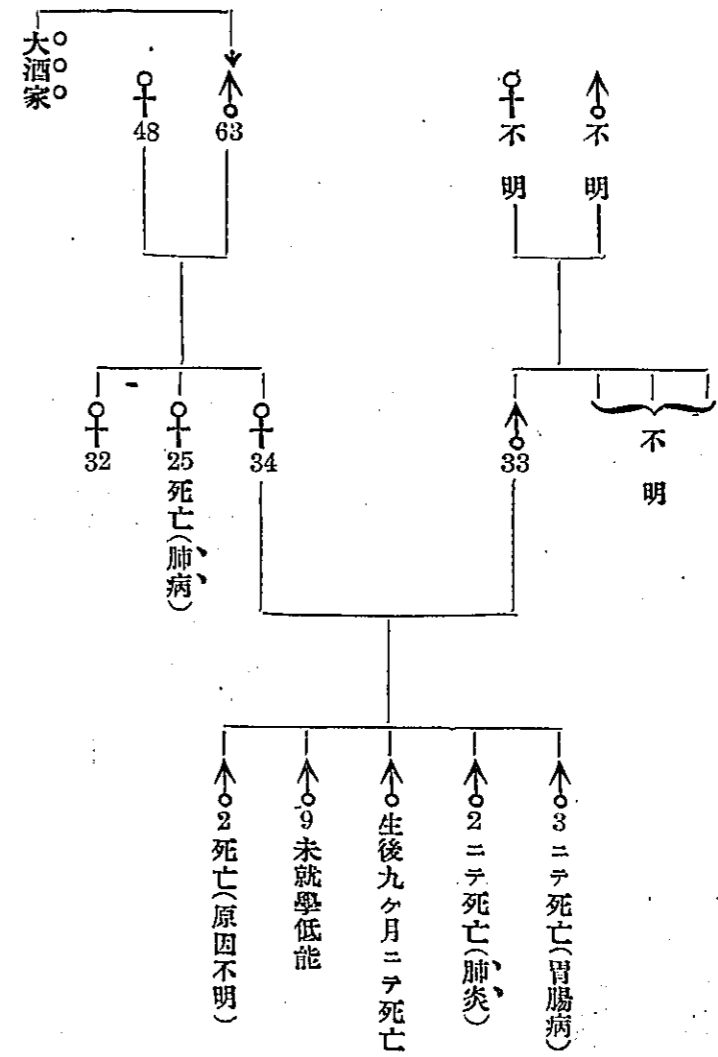
家族ノ特長

母ノ弟ノ肺病

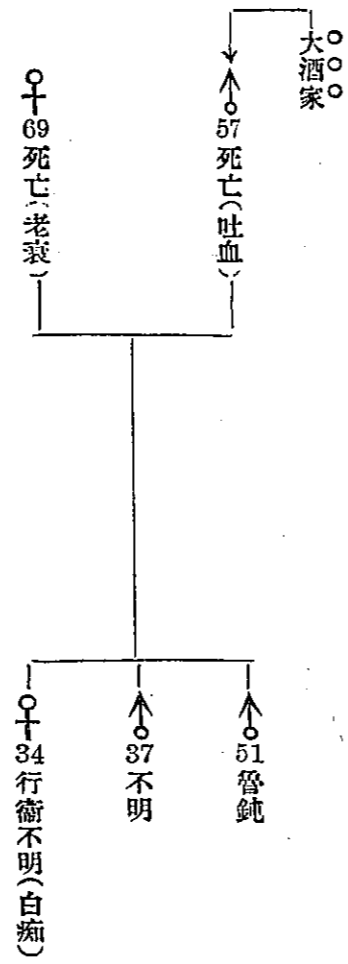
子ノ早死

三男ノ癩病

經濟的生活ノ低下



家族ノ特長
母ノ妹ノ肺病
子供ノ幼死
男ノ低能
經濟的生活ノ低下



現主ノ聾鈍
家族ノ特長
三女ノ白痴
經濟的生活ノ低下

以上ノ家系ニ就テ見ルニ、第一ハ經濟的生活ノ低下ナリ、即チ彼等ノ祖父等ハ毎日一升ノ酒ヲ飲ミ得ルホトナリシナリ、第二世ニ至リテハ全ク細民級ニ落チタルモノニシテ飲酒セント欲スルモ其慾望ヲ満足セシメ得サルモノアルナリ

第二ハ肉體ノ退化ナリ、即チ大酒家ノ子女ニハ肺病ヲ以テ死亡セシモノ多ク明ラカニ體質ノ退化ヲ實證セルモノナリ、更ニ彼等ノ孫ヲ見レハ其多クハ幼兒或ハ乳兒期ニ於テ死亡セルヲ見ル

第三ハ精神ノ退化ナリ、即チ此等ノ子孫ノ中ニハ記憶力記録力ハ勿論其知能ノ薄弱ナルモノ多キヲ見ルノミナラス、癩痢、白痴、魯鈍ノ現ハレタルモアリ、又道徳上法律上ノ咎ヲ受ケサルヘカラサル行爲アルモノヲ見ル

細民ノ出生縣ニ就テ

細民ノ出生縣別ハ別表ノ如ク東京府最高位ヲ占メ、新潟、千葉、埼玉、群馬ノ諸縣之ニ次ク、東京府ノ最高位ヲ占ムルハ怪ムニ足ラサレトモ新潟縣ノ次位ヲ占ムルハ注目スヘキコトナリ、コレ同地方ノ自然ト社會ノ狀態トカ然ラシメタル結果ナルヘシ

次ニ本所區横川町、深川區豊住町ノ兩長屋ニ移住シ來リシ年月ヲ調査スルニ、後者ハ開設以來六年ヲ經ルモノナルヲ以テ左シテ顯著ナル事實ヲ見スト雖モ、横川町ノ長屋ニ於テハ既ニ約廿年ヲ經タルモノナルヲ以テ住居者モ比較的長年月ニ渉レルヲ見ル

細民ノ出生縣別

府縣別	人員	府縣別	人員	府縣別	人員	府縣別	人員	府縣別	人員
東京府	七七	群馬縣	九	宮城縣	四	福井縣	二	岡山縣	一
新潟縣	一六	茨城縣	八	山梨縣	四	栃木縣	二	高知縣	一
千葉縣	一一	長野縣	八	愛知縣	四	石川縣	三	廣島縣	一
埼玉縣	一〇	三重縣	五	大阪府	四	滋賀縣	三	計	一八七

横川町長屋住居者ノ中

拾ケ年以上ノモノ 八人
 拾四年居住ノモノ 一人
 内 拾四年居住ノモノ 一人
 五ヶ年以上ノモノ 一人
 三ヶ年以上ノモノ 三人
 即チ下層民ノ生活ハ絶ヘス不安ニ襲ハレツ、アルモノニモ拘ラス比較的一ヶ所ニ定住スルモノアルヲ見ル

職業ノ方面ヨリ見タル細民

横川町ニ於テハ其地域繁閑ナル市街ニ包圍セラレ、而モ種々ノ製造工場遠近ニ散點スルヲ以テ、住民モ亦此等ノ機械的作業ニ關係アル職業ニ從事スルヲ見ルト雖トモ其ノ大部分ハ確實ナル技術ヲ有セサルモノナリ

七拾貳戸中

職 業	人 員	日 雇 人 夫	團 扇 張
職 工	一六	其 他 雜 業	一
職 工	八	毀	九
各種ノ行商	八	土	八
荷 車 業	七	小	三
人 力 車 夫	六	綠 日 商 人	一
古物商紙屑商	六	紙 袋 張	一

深川區豊住町ニ於テハ前記横川町ト異ルモノアリ、即チ横川町ハ繁閑ナル市街ニ圍繞セラル、ニ反